

## 『よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校』



# 長野中だより

### 学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒  
誠実で思いやりのある生徒  
心身ともにたくましい生徒

平成30年6月1日発行 第3号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240  
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>

5月24日 全校朝会から

校長 漆原 亮

おはようございます。教員を目指して教育実習に励んでいる3人の実習生の皆さんには、長野中の生徒と共に活動を深めて、よい実習にしてもらいたいと思います。学校の先生、教員は何と言っても生徒の皆さんの成長が喜びですし、それがやりがいです。先生方の思いに答えて、真っ正面から皆さんが張り切る姿を見られるのが本当にうれしいひとときです。先生方は皆さんを指導する時、①皆さんの前に立って手を引っぱって導く、②皆さんの後ろから背中を押してあげる、③皆さんの横に立って話を聴きながら思いを伝えたりする、など場面に応じて対応していきます。それは何のためか？それは皆さんを成長させるための目標に向けて、そうしているわけです。



今日は若葉が朝の光に映えてキラキラまぶしく見えますが、中学生の皆さんも同じように輝きと清々しさを放っています。若葉が日の光を受けてどんどん成長していくように、皆さんも今やるべきことをきちんと前向きに取り組むことで成長していくのです。

さて、中間テストが終わりました。次の目標、次のやるべきことは、修学旅行、校外学習です。ここで皆さんの成長が問われることとなります。

『奇跡のレッスン 吹奏楽』という番組を見ました。越谷市立東中学校吹奏楽部を舞台にした番組です。ここの部は地方の大会では優秀な成績を収めるのですが、全国大会に行くと思うように力が発揮できない、壁が乗り越えられない、ということでした。そこへアメリカのウィンドアンサンブル(吹奏楽)のプロの指揮者、マーク・スキヤタディさんがやってきて指導する、というものです。一週間後のコンクールに向けて練習に励む様子が放映されました。

ここで皆さんにその番組の内容を紹介していこうと思うのですが、推理小説を読む前に犯人の名前を教えてしまうようで、気が引けるところもありますが、お話ししていきます。

まず、マーク先生が部員に伝えたのが、“人に優しく”ということでした。何か楽器の演奏とは程遠いようにも思えますが、それがマーク先生を中心とする教えでした。練習内容は、というと激しく演奏する部分は問題は無いので、弱くゆっくり演奏する部分を重点的に練習していくことになりました。すると途中で部員がインフルエンザにかかってしまい、3分の1の部員が欠席してしまうという事態に陥ってしまいます。ファーストトランペットが不在となり、セカンドトランペットがその代役を務めることとなります。急なことなので相当なプレッシャーだったようです。彼の「マジ、やべえ」というつぶやきの中にもかなりのプレッシャーを感じて



いる様子が窺えます。マーク先生は本人の自覚を促すと共に、トロンボーンも同じパートを演奏し、支えてあげるように指示します。

また、ソロを任されたフルートが休み、サブの人が代役を務めることとなりますが、インフルエンザから復帰して部に戻って来ました。そ

こでソロをどうするか、という問題がわいてきますが、それぞれがソロのパートをシェアするようにして、お互いが切磋琢磨していくようにしました。

この点で何がポイントかと考えると、必ずしも思い通りにいくとは限らないので、困った時や困難な時、いかにうまく修正できるか、修正する力が大切なんだ、ということに気づかされます。

この修正力についてイチロー選手が大谷翔平選手のことをこう言っています。

“二刀流”をこなす大谷翔平選手の姿に、イチローはこう話した。「速いボールを投げる能力、遠くへ飛ばす能力も一流だが、それ以上にすごいのが修正して次に対応する能力」と賛辞を送ったということです。大谷選手だってホームランを打たれたり、三振をしたりしますが、次にはきちんと直してきています。修正する力が大切なんだとあらためて感じます。

吹奏楽の話に戻しますと、一週間して本番の日になりました。三郷市の文化会館が会場です。あまりにも素晴らしい施設に緊張する様子も見られました。リハーサルが始まるや、コントラバスの生徒が高熱を出して演奏ができない状況になりました。土壇場も土壇場、万事休すです。そこへチューバの生徒がマーク先生のところにやってきて、コントラバスのパートを演奏します、と自分たちの思いを、自分たちの言葉で伝えてきたのです。本番まであと1時間しかありません。それでもできる限りのことをやって本番に臨みました。

結果、インタビューにこう答えています。「今までで最高の演奏ができた。」と感無量の面持ちで目には涙を浮かべて話していました。本当に印象的な場面でした。

ここで、2つ目のポイントとして、緊急事態に対し、自分たちで考え、自分たちの思いを言葉にして表し、自分から進んで取り組んだ、ということです。けして、マーク先生に言われてやったのではなく、自分たちの決意を言葉にできたのがポイントなんだと思います。

これから修学旅行、校外学習に取り組み、集団の力が試される中で、ひとりひとりの力をつけていかなければならない場面が出てきます。そんな中、計画通り、思い通りにいかないことがあっても、上手に修正していくこと、自分の考えや思いを言葉にして自分から進んで取り組んでいくこと、を心がけて素晴らしい行事を築いてきてください。

## 6月行事予定

6/1	金	3年修学旅行
2	⊕	3年修学旅行
3	⊖	3年修学旅行
4	月	1年校外学習、3年振替休業日
5	火	3年振替休業日
6	水	2年校外学習
7	木	A短、歯科健診、専門委員会
8	金	教育実習終了、県通信陸上
9	⊕	県通信陸上
11	月	尿検査2次
12	火	生徒総会、尿検査2次

13	水	耳鼻科検診
14	木	内科検診
15	金	A短、まきば園訪問
16	⊕	部活動中止 (6/22 まで)
18	月	安全の日
19	火	夏季大会代表者会
20	水	B短、全校朝会、耳鼻科検診
21	木	1学期期末テスト
22	金	1学期期末テスト
25	月	眼科検診
26	火	B短、生徒朝会(壮行会)
27	水	北埼玉地区夏季大会 1回戦